

多摩市学校給食献立検討市民懇談会



11月29日に第2回多摩市学校給食献立検討市民懇談会がおこなわれました。
試食会のあと、青陵中学校の副校長先生、学校給食センター長から挨拶があり
瓜生小学校の先生が、3年生の食育の授業に読み聞かせをしている「いわしくん」の絵本の
紹介をしてくださいました。

栄養士によれば1月24日から30日の給食週間では日本各地の郷土食、2月は行事食
はもちろん、バレンタインにちなんだもの、体が温まる献立を企画しているとのことでした。

その後、給食センターの栄養士、調理師を交え、活発な意見交換会が行われました。
牛乳の残量は選択制になり数は減っているが、魚の献立の残量が多いのを嘆かれていまし
た。

国の栄養基準を満たすためにはししゃも、ホッケ、鮭を利用することが多いが、味の癖も
強く、時間が経つと余計に食べづらくなるのでは・・・と考え、鮭のパスツキを減らすため
に塩麴をつかう、人気の「大豆とじゃこ」の登場回数を増やすなど、子供たちが喜んで食べ
てくれるために、様々な意見を柔軟に取り入れて改善していこうという姿勢が見えました。



【当日の献立紹介】

わかめご飯
白玉汁
たちうおの唐揚げ
五目きんぴら
ジョア



<たちうおの唐揚げ>

たちうおは身も柔らかく、味もよいので、シンプルに唐揚げにしました。

<五目きんぴら>

体を温めると言われる根菜を、お肉も加えて食べやすく「きんぴら」にしました。